

仙北町駅バリアフリー化設備整備事業について

令和4年2月10日
建設部

1 状況

仙北町駅については、令和3年3月にバリアフリー化を図るためJR東日本（以下「JR」）、国及び市により「仙北町駅バリアフリー化設備等整備協議会」を設置し、令和3年度については、JRで基本設計を進めている。

JRでは、Suicaの導入等を見越し、将来的な駅無人化も想定し、既存東西自由通路とこ線橋を階段及びスロープで接続する案の検討を行っており、地元へは令和4年1月28日に検討案が示されている。

バリアフリー化に係る費用は国の支援制度に基づき、JRが行う事業費に対して、国・市からそれぞれ1/3補助し、令和4年度については、JRで実施設計を行う予定となっている。

2 バリアフリー化整備に関する施設

- ・ エレベーター 1基
- ・ スロープ, 階段 (自由通路と既存こ線橋を連絡)
- ・ その他工事 (既存こ線橋の構造強化, 改札部ほか)

3 事業費 (概算予定額) について

バリアフリー化事業費 295,000千円 (国・市・JR)

市補助合計 (一般財源) 98,334千円

【内訳】・実施設計 45,000千円 (1/3市補助: 15,000千円)

・工事 250,000千円 (1/3市補助: 83,334千円)

4 その他

- ・ 既存駅舎等については、利活用について地元と一緒に検討を進める。

5 スケジュール

令和3年度 基本設計 (JRにて実施中)

令和4年2月10日 全員協議会

令和4年度 実施設計

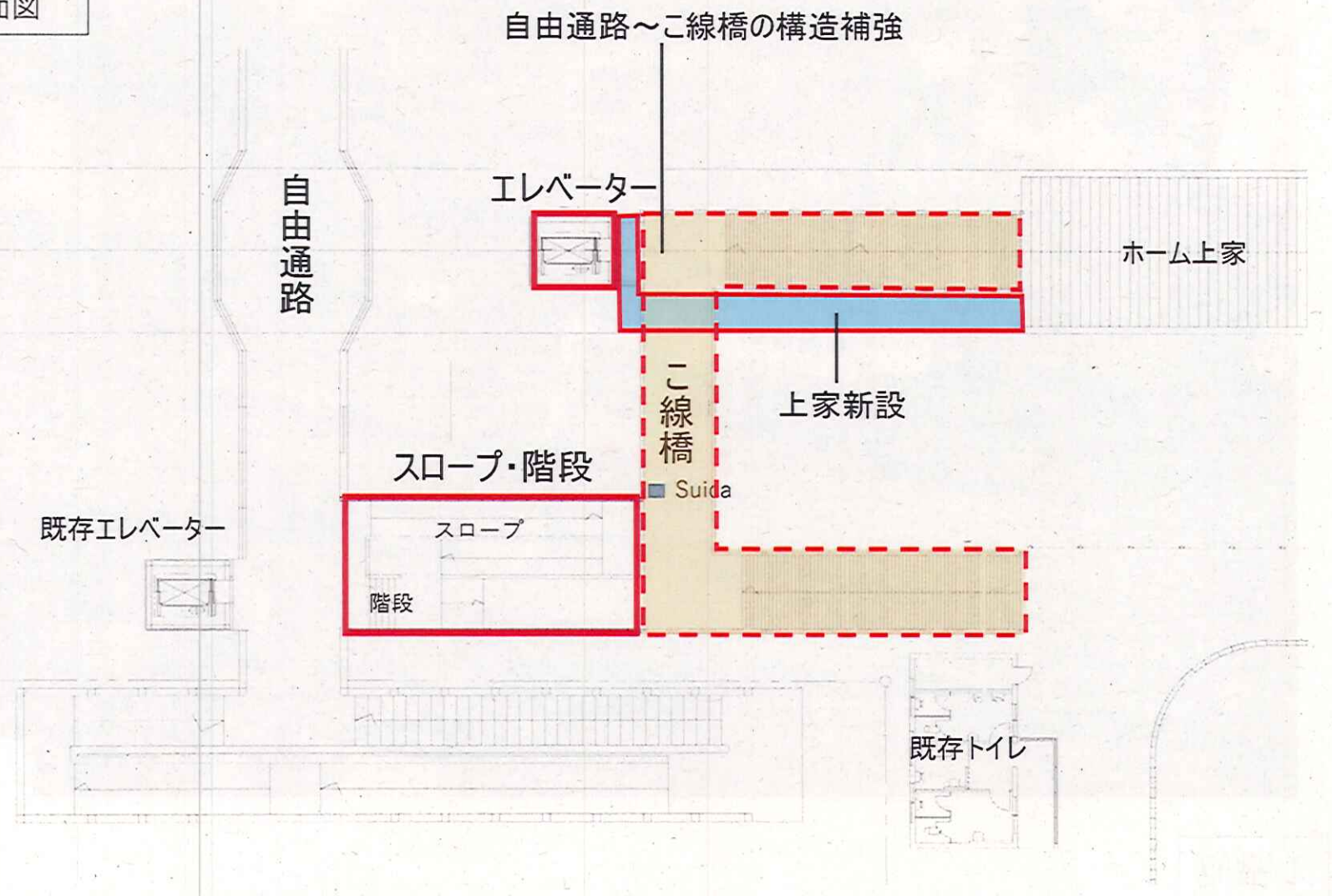
令和5～6年度 工事

仙北町駅



バリアフリー化設備整備詳細図(検討案)

2F平面図



自由通路～こ線橋の構造補強

エレベーター

ホーム上家

自由通路

上家新設

こ線橋

スロープ・階段

Suida

スロープ

階段

既存エレベーター

既存トイレ